

# 健康と光線

## 骨粗鬆症の原因はカルシウムだけではない

骨粗鬆症というと、即座にカルシウムが足りないと思うほど、日本ではカルシウムは重視されています。無論、カルシウムは大切ですが、骨粗鬆症の原因はカルシウムだけではありません。脚気はビタミンB欠乏症というのとは違うのです。

まず日本人のカルシウム摂取量は、昭和40年代以降、明らかに増えました。顧みて、昭和30年代までの食事は、今や死語に等しい一汁一菜（一種類の吸い物と一種類のおかず）が当たり前の粗末なものでした。今は飽食の時代です。それ故、よほどの偏食をしない限り、カルシウム摂取量は増えて当然なのです。しかしここ三十年の間、食事でのカルシウム摂取量が厚生省の推奨値の90%前後から増えないのは、欧米人と比べて乳製品が少ない食習慣のためです。しか

し昨今は以前に比べ、カルシウムは薬として、飲料として、あるいは栄養補助食品として巷にあふれていますので、特に骨粗鬆症を気遣っている年齢層の人の摂取量は言われるほど不足していないと思われる。

これに反し、骨を丈夫にする上で欠かすことの出来ない、日光を浴びてビタミンDを生成し、身体はこまめに動かす、自然に則した暮らしは以前に比べ明らかになおざりにされています。これが骨粗鬆症の悪化要因になることに気付いて、生活習慣を改めれば、骨が丈夫になるだけでなく、運動能力も鍛えられます。さすれば加齢に伴う変形性骨関節疾患や骨折の予防、治療をしていることになるのです。

参考までに付け加えれば、乳製品を多くとる欧米諸国のカルシウム摂取量は軒並み日本の基準値を大きく越えています。骨折を起こす頻度は日本の二倍から三倍です。

発行所

〒153  
東京都目黒区目黒  
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行  
会費年500円  
電話 東京 (03)  
3793-5281  
3712-5322

## 更年期になったら孫の行動を真似よう

女性は更年期になって女性ホルモン分泌が減少し始めると、急激に骨の粗鬆化が促されるので、女性ホルモン補充療法をすべきである、という話をよく聞きます。しかし実際には、更年期の数年間の骨の粗鬆化の程度はたかが知れてますし、薬を使うことでもっと面倒な病気になる可能性もありますので、決して鵜呑みにしてはなりません。更に更年期に骨粗鬆症が進むのは女性の宿命と、思ってしまうと、丈夫な骨を保つために他人（医師）には出来

ないことまでどうでもよくなってしまう。

更年期になったら、骨がどんな成長する孫を見習ってください。カルシウムもさることながら、ちょっとした目を離した隙にちよこまか動き回り、太陽の下で遊んでいませんか。更年期を過ぎて、七十年代、八十年代になっても元氣溼刺とした生活をしたいのなら、孫の真似をして、身体をこまめに動かし、新鮮な日光を浴びる、この生活習慣を守って丈夫な骨や敏捷さを保つように努めなければならぬのです。

## 骨粗鬆症をどのようにとらえるか —自然と共生して生きる その3—

サナモア光線協会  
サナモア中央診療所  
医学博士 宇都宮 光明

### 太陽の来ないところ に医者がくる

ナポリ地方に伝えられた格言ですが、日光が健康と長寿に不可欠な要素であるという自然の定めを表しています。この格言を裏付ける明確な具体例としては、十八世紀の頃になって多発したクル病がありますが、近年では骨粗鬆症を

### 骨粗鬆症は健康を左右する

カルシウムパラドックスが骨の粗鬆化を促すことは既に述べましたが、骨粗鬆症になると些細な外力で、手首、もの付け根、背骨（椎骨）などの骨折を起こし、時に寝たきりになると恐れられています。しかしこの病気を単に骨折の原因としてとらえるのは大きな誤りです。健康状態から生活習慣病（成人病）やアレルギー疾患やガンやボケのような、ちよっと見ると無関係と思われる病気まで、カルシウムパラドックスが関わっているからです。

あげることが出来ると考えています。

今は母乳で育てられている乳児のカルシウム代謝を円滑にしてクル病を防ぐため、日光浴をさせるように指導されます。この指導は人間以外には必要ありませんが、文明社会では日光浴も意識しないと出来ないことを示しています。高齢者の場合も同様で、子供や孫が努めて日光浴や運動の手助けをしてやる必要があります。そうすることで骨の粗鬆化や病的骨折を予防出来るのです。



宇都宮義真撮影

ぼる市



讃光譜



## 早期発見では 遅すぎるか

癌治療の成否は、一にも二にも早期発見にあると言われているが、癌の世界的な権威者である新潟大学の堺教授が、去る九月三十日(昭和四十四年)に癌で死亡したことは、寿命と云えばそれまでだが、早期発見に手抜きがあったとも思われないので、早期発見では既に遅すぎるのではないかという疑問を抱かざるを得ない。

癌治療に経験が豊富な外科医は、肺癌で早期に手術をした症例と手術をしなかった症例を比較して、生存期間には殆ど差がなく、延命効果は余り期待できないと告白している。つまり急速に進行する性質の癌は、早期に手術をしても抑えることは困難であり、手術が成功したように見えるのは進行の遅い性質の癌に限られる、というのである。

## 癌治療の困難性

進行した癌の場合、ベテランの外科医が如何に巧みに手術をしても、癌細胞を完全に取り除くことは不可能である。また術後の癌患者の再発は一年以内が

最も多いが、これには手術によって却って癌細胞の全身への転移が促されることが残された癌の発育が早まることが関わっている。と指摘する医師もある。東大の外科教授の石橋幸雄博士は、乳癌の手術を受けた患者で、手術をしていない残された乳房に癌が再発する率は、手術をしなかった患者の二倍であるから、手術には無条件で賛成できないと発表している。

しからば癌の診断は死刑の宣告に等しく、絶対に治らない病気であろうか。一方で、癌になっても必ず死ぬとは限らず、ある時期に進行が止まったり、段々小さくなって自然に治癒する症例のあることも現実知られている。学者の中には、癌患者で血液に癌細胞が相当数あるにも拘らず、転移を起こさない患者のあることに着目して研究している人もいるが、未だ解決の曙光を見るに至っていない。

## タネか土壌か

一九五八年の臨床医学に関する国際会議で、スタンフォード・ケード卿は、「これからの癌研究は種子(癌)から土壌(担癌個体)の方に移って行くだろう」と述べられたが、癌の発生と癌患者の身体機能との関係を

研究することの必要性を提起したものととして傾聴すべき言葉である。

身体には元来癌を抑制する何等かの作用(制癌因子)があり、その力の弱い場合に癌にかかり癌が進行すると考えられている。つまり癌にならないと言うことは、細胞が癌化しても排除して

## 癌の側面

宇都宮 義真

発育させないということである。

このように癌が進行するかしないかを決めるのは、癌の性質にもよるが、身体の状態とも深く関係する。種子を蒔いても土壌が適していないと発芽しないか、発芽しても生長できずに枯れてしまうようなもので、癌についても、タネ、すなわち癌につい

ただでなく、土壌、すなわち癌患者の身体機能の面について研究するように提言したのである。

## 癌患者に サナモアを応用

畑(土壌)が悪いと種子を蒔いても作物が育たないように、癌も育ちにくい環境では発育できず、遂には自滅の運命をたどることになる。これが世の中に癌にかかる人とかからない人がある理由ではあるまいか。したがって癌に対しても、むしろ体質を改善することによって、癌にかからない身体、癌にかかっても自然に治癒するような身体を造って予防することを心掛けることの方がよいのであるまいか。今後、ケード卿がいわれた土壌に関する研究の進歩を期待したい。

ところで癌患者にサナモアを応用して予期した以上の好成績をしばしば経験するが、サナモアが癌患者の身体機能に作用して、癌を抑制する力を強めるため、と考えている。

「健康と光線」

昭和35年10月5日発行

「癌も自然治癒する」

昭和44年11月5日

「早期発見では遅すぎるか」を要約した。

# 苦しみなく息を引き取る

—大陽がんの主人と過ごした九年間—

東京都 S・M

主人が大陽がんになり手術をしました。が、病院では肝臓に転移しているの、よくても二年の寿命と宣告されました。その時、主人は81才でしたが、息子と光線の先生にこれからのことを相談しうかがいました。先生は光線療法も全知全能ではないから、やってみないと分からないが、がん闘う患者の力を強めることは期待できると思えました。それから家族全員で相談しましたが、何よりも苦しめたくないの強い治療は断ろうということになりました。その話を思い切って病院の先生に申し上げたら、先生もその方がよいでしょうと賛成してくれました。私ども一家は、先代の先生の時からサナモアの信奉者で、何があってもまずサナモアに頼ってきました。それで入院中の主人を見舞うついでに、光線療法を病院の先生に見せて相談し

ましたが、先生は光線療法をするということにも賛成してくれました。それで病院ですすめられた漢方薬と光線療法で治療することにして退院しました。

主人には病名を告げておりませんでしたので、治って退院したと信じていました。そのため病院に通院することや漢方薬を飲むことを嫌がることもありましたが、光線療法を嫌がることはありませんでした。でもそのうちに習慣になったのか、何か

## 家族の選択

宇都宮 光明

世の中には建前と本音がつきものだが、昨年来、近藤誠氏（慶大医学部講師）の「患者よ、がん闘うな」、という挑発的な表題の書籍が評判になり物議をかもしている。医師はあらゆる病に對して最善の治療を行う、という建前では、手術は無用、抗がん剤治療の90%は無意味、がん検診は無駄、というのは言語道断であろう。しかし一方で、医師の本音を隠さず正直に吐露している、と評価する向きもある。当研究所の前

を感じたのかわかりませんが、病院に行くのも漢方薬を飲むのも嫌がらなくなり、光線も朝の起きしなや夜の寝しなに一人でかけている姿をよく見掛けました。

主人はもととはむしろやせた人でしたが、そのうちに段々と太ってきて、一年過ぎ二年過ぎ三年過ぎても肝臓の転移はあまり変わらないと言われ、見掛けは平穏な日々が過ぎていきました。主人は病院で先生から調

所長、宇都宮義真も、癌の側面（二面）で同様な疑問を投げ掛けているが、先端的な医療行為には未知の領域に属するものも多く、常に正しく最善とは限らないからである。

医師の立場では、現在のがん治療で見られるような混沌たる医療も、次世代の進歩につながるのだから許容される、ということかも知れない。しかしこれは医師の独善ではないだろうか。患者やその家族には、今の医学の実態を知り、今の医師の本心を知った上で治療法を選択する権利があるからだ。

近藤氏の書籍が出版される以前から、当研究所にがんの光線療法について相談に来る人は増えている。理由はさまざまであ

子が良いね、と言われて嬉しうにしていたが、私は何時も何が始まるか気が気でなく、不安な日を過ごしていました。

主人は仕事を息子にゆずってからは、盆栽を趣味に楽しんでいました。亡くなる二年ほど前から、病院で腫瘍マーカーが上がってきたので気をつけるように言われましたが、見た目には以前と同じようにしていました。一年ほど前から少しやせましたが、主人はやはり何も申しませ

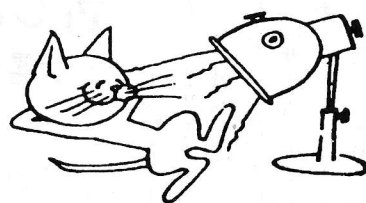
ろうが、医療現場の実態を察知したことが関わっていることに間違いはない。S・Mさんも、病気に伴う苦痛や抗がん剤の副作用についてしきりに質問され、治療を拒絶した場合の病院の対応を心配していたことを覚えている。

掲載した体験談はS・Mさんの希望で匿名としたが、患者の晩年の幸せを家族でささえた話である。これには家族の選択に助けてくれた医師の協力が大きいが、私にとっても教わる事が多い。殊に最後に死という結末の中で感謝の言葉を聞けたのは望外の喜びであり、私こそ心から有難うございました、と申し上げたい。

ん。でもだるかったのだと思いますが、盆栽の手入れも熱意がなくなり、横になることが多くなり、光線も面倒くさがるようになり、無理にでもかけるようになりまして。子供達は年だからと申しませんが、病気がすすんだことがわかりました。

亡くなる二ヶ月ほど前からはっきり食欲がなくなり、むくんでしまいましたが、私が主人に何を聞いても何でもないとしか申しません。病院でも入院するならさせないといわれますので、主人に入院しようといいましたが、がんとして嫌がります。子供達も入院させるのはよそう、と申しますので、病院で先生に万一の場合には往診してほしいと頼みましたら、先生は承知してくれただけでなく、近くに懇意にしている先生がいるなら、これまでの経過を書いた依頼状をあげます、とまでいってくださいました。

それからは日に日に弱っていきましたが、それでも何の苦しみも訴えません。そして家族に看取られて眠るように息を引き取りました。大陽がんの手術を受けてから九年間、入院することもなく過ごさせることができました。本当に有難うございました。



## 治 験 例 報 告

### ☆慢性中耳炎

症例 20歳 女性 大学生

症状 小学校二年生の時に急性中耳炎に罹り、一ヶ月間の通院治療で全快したと言われたが、中学校の三年生で再発、耳鼻科で慢性中耳炎と診断された。それから治療中も時々耳だれを繰り返したが、昨年の十一月にいつもとは違うしつこい風邪に罹り、丸三日寝込んだ際に、耳だれが黄色がかった濃くなり、耳に痛みを感じるようになった。見舞いに来た叔母に光線療法を勧められ来所した。

療法経過 ADカーボンで一号

集光器を使い、焦点を耳の穴に合わせて10分、耳の後に20分、鼻10分、喉10分、腹10分、ABカーボンで膝10分、足裏20分、それぞれ照射した。

翌日からは叔母から借りた治療器で自己治療をすることにした。耳の部分には一日二回の照射を指示した。二週間経って来所したが、治療を始めて三、四日してから膿性の耳だれの排出量が増えたこともあったが、その後はだんだん少なくなり、痛みは四、五日で消失し、それまで少し耳が遠くなったことを感じていたが、聞こえが良くなった。きたようだ、といっていた。

### ☆炎症性粉瘤

症例 53歳 女性

症状 当初は背中にある表面が平滑な脂肪の固まりのような隆起物(腫瘍)の治療について相談されたので、病院で診察を受けて適応があれば手術的に摘出してもらうように勧めた。その三ヶ月後に、患部の周辺が痛がゆいので治療してほしいと再び来院された。背中を診ると、患部は炎症を起こして赤く腫れていて、触ると痛いと言っていた。

これから再発しないように治すためにも、耳だれがなくなったからと光線照射をやめないで、更に三、四ヶ月は続けるように話した。

上野 健太郎氏報告  
神戸市 ウエノ光線療研

TEL0七八三三二一三三五八

### ☆急性乳腺炎

症例 22歳 女性

症状 生後一ヶ月程した男児の母親であるが、授乳中に両方の乳房が赤く腫れ上がり、熱を持ち、痛くてしょうがないという表情で来所した。勿論、今は授

療法経過 治療は側臥位で、患部には一号集光器を使い、BCカーボンで30分照射した。その外に側臥位で、ABカーボンで同時に腹と足裏10分、腰と膝10分、次に仰臥位で、左右から肩に5分、腰に5分、膝に5分照射した。

治療を始めて三日後に、患部に脂肪のような白い固まりが見えた。七日目に皮膚が自潰して膿と一緒に小指の先ほどの白い脂肪のような固まりが取れたので観察したが、ゴムのような感

### サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA、B、C、Dカーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」とも愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、サナモアA、B、C、Dと効果が同じという根拠もないような文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとらぬ行為をする者が何時の世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので異々もご注意ください。

(サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標「B」のマークが必ずついています。)

東京光線療法研究所

乳は出来ない。

治療経過 一台は基本照射をするためにABカーボンで、足裏、足首、膝、腰、腹、背に各20分づつ照射し、もう一台は患部の

乳房にBCカーボンで、始めは全開で片方30分づつ両方に照射し、その後に一号集光器を使って片方に30・60分位、両方に痛みが和らぐまで照射した。

じのする物で、空気に触れて少し硬くなった。これを取り除いてから、患者は気分がとても良くなったと話していた。

それから症状ははっきり改善し、十日目頃には自潰した傷痕が目立たなくなり、十八日目に完治して治療を打ち切った。

なおサナモア中央診療所の宇都宮先生に出てきた固まりを見て貰い、粉瘤の診断を確定した。

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL0四四一七二二一五〇六七

その日は排膿がほぼ止まるまで照射したが、終わって帰宅する時には痛みは殆どとれて楽になった。それから一度来所され治療したが、その後は購入した治療器で自宅で治療して完治した。

春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

TEL0九二一五八一二〇三九

## 日光浴は狂人のすることか

すべての人が太陽光線の大きな恵みを自分のものにして欲しいと願っている身にとってはやるせない思いを強いられる季節になりました。紫外線は「お肌の大敵、皮膚ガンの原因」というコトラスが始まるからです。

日光を浴びる際には紫外線(UV)を遮断する化粧品(サンスクリーン)や日傘や帽子や衣服を使わないと、皮膚の老化を促し、しみ、そばかす、皮膚ガンの原因になる、と殊に中年過ぎの女性をターゲットに気になることばかり強調します。これでは日光のイメージは悪くなる一方です。中でも皮膚ガンになるといふ脅しは効果的面で、日光浴は狂人のすることと思っている人もいます。

しかし紫外線はそんなに恐いものなのでしょうか。一方で紫外線は私たちに對し、カルシウム調節ホルモンのビタミンDを合成し、皮膚や全身の抵抗力を高め、血液循環を促進するなど有用な働きをしていることもよく知られています。したがって無闇に紫外線を恐れて暮す方が、よほど狂人のすることではないでしょうか。

人類が犯した大罪・オゾン層の破壊とUVBの増加  
紫外線にはオゾン層を透して

地表に到達するUVA(波長の長い紫外線)と吸収されて殆ど到達しないUVB(波長の短い紫外線)がありますが、近年、これほど紫外線の皮膚障害が問題にされるようになった背景には、人類がフロンガスでオゾン層を枯渇させ、地表に到達するUVBを増加させたことが大いに関わっています。身近でフロンガスが使われた例にヘアスプレーなどがあります。

紫外線のUVAは主としてサンタンと呼ばれる黒褐色の日焼け(遅延型の黒化)を起こし、UVBはサンバーンと呼ばれる赤い日焼け(急性の炎症)を起こします。サンバーンは細胞内の遺伝子・DNAに突然変異を生じ、特に白人で皮膚ガンの発生率を高める可能性があるため、その影響が憂慮されているのです。なおUVBは化粧品(サンスクリーンを含む)のような化学物質が皮膚に介在すると、UVAより高率に皮膚障害(化粧品皮膚炎)を起こしますので、前以ってかぶれの有無を確認する必要があります。

## 日本人に少ない

## 紫外線による皮膚ガン

紫外線が皮膚ガンになり亡くなった人を知ってますか、と尋ねれば、日本人(有色人種は同じ)の99%は知らないと言えらると思います(知っていればご一報下さい)。これは日本の皮膚ガン発生率は世界でも最低に属し、紫外線の強い沖縄と弱い地方と比較して発生率に差がないため、日本人が日焼けで皮膚ガ

## 日焼けが原因で皮膚ガンに

## なった人を知っていますか

## 紫外線に対する過剰反応を戒める

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

皮膚ガンと紫外線との関係が注目されたのは、母国を離れてオーストラリアに移住した白人に皮膚ガンが多いことが指摘されてからです。事実、紫外線による皮膚ガンの発生率は皮膚の色量と緯度に深く関係し、人種、地域、個人の差がはっきりと現れます。つまり肌が白いほど、住まいが赤道に近いほど、皮膚ガンになり易いのです。し

たがって同じ白人人種でも、北欧やスコットランドに住む白人とオーストラリアやテキサスに移住した白人で皮膚ガン発生率を比較すると、後者は前者の十倍から二十倍です。無論、もともと緯度の低い地に住んでいる先住民族は殆ど皮膚ガンになりません。すなわち皮膚ガンの主要な病因は、人類がオゾン層を破壊したことで白人が緯度の低い地に移り住んだためであって、自然には全く

る人が本当は無知で光線のその外の作用を知らないか、わざと過小評価するためでしょうか。ガンの原因といえば、酸素も食物もDNAを損傷し、発ガンを促す恐れがあります。だからといって、酸素は吸わない、物は食べない、という人はありません。これに対し地上の生物は、文明社会に住む前の人類も含めて、必ず日光を浴びますので、不足してもさしたる症状はありません。そのため紫外線で皮膚ガンになると脅されて日光を避けても、弊害には気付かないかも知れませんが、これは明らかに自然の摂理に反した行為です。しかしそれで健康になると思う人がいるのですから、これも世にも不思議な話ではないでしょうか。

世にも不思議な話  
非礼をわきまえずに言えば、医学に関心があつて学んだわけでもなく、患者に接したわけでもないのに、紫外線が皮膚ガンになるという話だけは知っている、世にも不思議な話と思われませんか。

この一半の理由は、この季節になるとどつと現れる日焼け止め(紫外線防止化粧品)のカラーシヤルと皮膚科医や美容専門家などの紫外線(特にUVB)の皮膚障害に偏り過ぎたオーバーな啓蒙記事にあり、残る一半の理由は、日焼けの専門家と称する人が本当は無知で光線のその外の作用を知らないか、わざと過小評価するためでしょうか。ガンの原因といえば、酸素も食物もDNAを損傷し、発ガンを促す恐れがあります。だからといって、酸素は吸わない、物は食べない、という人はありません。これに対し地上の生物は、文明社会に住む前の人類も含めて、必ず日光を浴びますので、不足してもさしたる症状はありません。そのため紫外線で皮膚ガンになると脅されて日光を避けても、弊害には気付かないかも知れませんが、これは明らかに自然の摂理に反した行為です。しかしそれで健康になると思う人がいるのですから、これも世にも不思議な話ではないでしょうか。

## 皮膚ガンの中のがんもどき

近藤誠氏は著書の「患者よ、

「がんもどき」の中で、ガンが本物のがんとがんとに似て、がんにもどきはがんに似て、がんにあらずる病変で、みたところ本物のがんにそっくりだが、放っておいても将来転移しない」と非常に興味深い見解を示され(六ページへつづく)

(五ページからつづく)

ました。実は皮膚ガンの中に、がんもどきにぴったりのガンがあります。このガンは紫外線と関連が最も深く、日本人の皮膚ガンの中で最も多い基底細胞ガンです。アメリカのレーガン大統領がかかった皮膚ガンですが、この病気で亡くなることはないでしょう。診断名だけでここまで言い切る訳を説明しましょう。

基底細胞ガンの多くは、長年日光に当たった顔の中央部に発生し、黒い腫瘤をつくりまします。成長は大変遅く、1-2センチになるのに数年かかり、始めのうちには自覚症はありませんが、大きくなると中央部は潰瘍化し、放置すると患部が腐って脱落します。しかし転移することはまずありませんので、患部を摘出すればよく、命まで奪うことはまずありません。すなわち組織的にはガンだけど性質は極めておとなしく、そのため基底細胞ガンではなく基底細胞上皮腫というガンとは異なる病名にするように主張する学者もいます。

## 悪性で転移もする

## 有棘細胞ガンの原因

皮膚ガンというと、前述の基底細胞ガン(基底細胞上皮腫)と有棘細胞ガンが主な病気です。有棘細胞ガンは悪性で遠隔転移も起こしますが、多くは放射線照射部位(放射線癌ともいう)

や火傷や外傷などの古い傷痕の癰痕(癰痕癌ともいう)やウィルス性の疣などから、十年から二十年くらいして発生します。表面は紅く盛り上がり、じくじくして、中央から自潰し易く、ちよつと触っただけで出血します。このガンは紫外線によっても発生しますが、それには五十年以上の年月を必要とするため高齢者に多く、外皮の角質層が肥厚し前ガン性病変とされている状況の腫瘍、すなわち老人性

(日光)角化症から発生します。しかし紫外線によるものは全有棘細胞ガンの四分の一以下で、他の原因のものに比べて転移も遅いとされています。なお遺伝的にDNA損傷修復機構が欠損する色素性乾皮症(DNA復生酵素欠損症)では、日光照射を受けた露出部に有棘細胞ガンを始めさまざまな皮膚ガンを高率に生じますが、本症は極めて稀で、外に知的障害、構音障害、難聴、発育障害などを認めます。

## 足底に好発する

## 悪性黒色腫(メラノーマ)

広義の皮膚ガンの中で、ほくろ(母斑)が極めて稀に悪性化する悪性黒色腫は、悪性度の高いガンで、遠隔転移を起こし易く、治療に抵抗します。日本人(有色人種)で最も好発する部位は足底ですが、その外に手掌、爪床、口腔、外陰部などのほく

ろが短期間のうちに大きくなったり、かゆみや発赤が出てきたら、悪性黒色腫の可能性がります。

このように日本人の悪性黒色腫はむしろ日焼けとの関係が希薄な部位に好んで発生しますが、白人は背中、上肢、頭部、頸部など露出するところに好発し、かつ増加傾向にあることから、悪性黒色腫とUVBとの関連がしきりに論じられています。

## 太陽光線の大恩は不変

紀元前五世紀に生を受けた医聖、ヒポクラテスは、自然治癒力を名医に譬え、名医を働かせるには日光浴が欠かせないと述べています。燦々とふりそそぐ日光は、長い間、人々にとって畏敬の対象であり、健康のシンボルでした。しかるに近年になって、オゾン層の破壊で増加が危惧されるUVBの皮膚障害を過大に喧伝する傾向が強まる一方で、太陽光線の大恩を忘れ、日光を浴びるべきか浴びざるべきか、戸惑いを感じている人が増えたことも否めない事実です。しかし人類が自然環境を破壊しない限り、もともと自然に存在するものでデメリットがメリットに勝るものなどあるはずがありません。言うまでもなく、太陽光線の非を唱えるのは筋違いで、その大恩は決して変わることはありません。

サナモア



サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないがなくてはならない紫外線や赤外線を目的に應じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。

入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三-五二八一  
(三七一-五三三二)

(本紙の無断転用を禁止します。)